

<概要版> 第3回川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策アドバイザー会議

<環境保全措置等に関する取組(国)>資料4

- 動植物における重要な種※1等について、環境影響の予測結果を踏まえた環境保全措置等(モニタリング調査、移植実験等)を継続して実施しています。
- これまでの調査・実験等を通じて知見の蓄積が進んでおり、その成果を踏まえ、モニタリング調査計画において令和8年度に実施予定としている調査や移植実験等の検討を進めています。また、本体工事着工に向け、工事に伴い実施予定である環境保全措置の具体的な方法等の検討も進めています。
- 環境保全措置等を現場で適切に実行するため、令和8年度から環境巡視を開始し、環境保全対策に万全を期しながら事業を進めています。

■動物

- ・両性類の保全措置対象種であるカジカガエルの移植実験を令和8年度に実施。
- ・陸上昆虫類の保全措置対象種であるカラスシジミの移植実験を令和8年度に実施。
- ・哺乳類の保全措置対象種であるユビナガコウモリについて、約6,000個体のモニタリング調査により移動・交流状況が判明。工事の影響が及ぶ箇所について、侵入防止対策や環境改善対策を実施中。

■植物

- ・種子・シダ植物の保全措置対象種であるメハジキ他数種について、令和7年度実施の移植実験後、モニタリングにより株移植した4種については全個体の生存を確認し、播種移植したクマノダケについては発芽・生育を確認。
- ・蘚苔類の保全措置対象種であるカビゴケについて、令和7年度実施の移植実験後、モニタリングにより一部箇所活着を確認。

■生態系(上位性:陸域および河川域)

- ・クマタカ(陸域)、ヤマセミ・カワセミ・カワガラス(河川域)の環境保全措置の考え方を検討。
- ・学識者の意見を踏まえ、工事实施時期の配慮、建設機械稼働に伴う騒音等の抑制、作業員の出入り等に対する配慮、コンディショニング等を実施予定。

■環境巡視

- ・学識者を含む川辺川ダム周辺地域の環境に精通した環境巡視員による環境巡視を令和8年度から開始。
- ・工事箇所を主として、月1回程度、「環境保全措置の実施状況の確認」と「関係者への環境保全措置に関する情報提供」を実施。

<環境データの利活用等に関する取組(国・県)>資料5

- 川辺川の流水型ダム事業に伴い蓄積された貴重な環境データや川辺川ならではの環境を活かし、「川辺川アカデミア」の取組を、令和6年度から継続的に実施しています。

■川辺川アカデミア

- ・取組開始(令和6年度)以降、令和8年7月末時点で延べ1,000人以上が参加。
- ・参加者から本取組が目指す郷土愛の醸成に繋がる意見も得られたところ。
- ・本取組の実施を継続し、今後は持続可能な協働体制の構築を目指す。

<熊本県が実施中の取組(県)>資料6

- 河川整備にあわせて、河川環境の改善に向けた試験施工と環境モニタリングを実施しています。

- ・相良村廻地区において、現地の転石等を利用した「仮設魚道」を設置し、アユの遡上状況を調査中。
- ・五木村宮園地区において、河川環境の改善に向けた「水制工」を設置し、河床の変化とその効果を検証中。

<概要版> 第3回川辺川の流水型ダムに係る環境保全対策アドバイザー一会議

※1 重要な種の選定基準

「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づいて指定された天然記念物及び特別天然記念物、「熊本県文化財保護条例」(昭和51年熊本県条例第48号)、「八代市文化財保護条例」(平成17年 八代市条例第97号)、「人吉市文化財保護条例」(昭和53年人吉市条例第10号)、「錦町文化財保護条例」(昭和40年錦町条例第16号)、「多良木町文化財保護条例」(平成17年多良木町条例第6号)、「湯前町文化財保護条例」(昭和44年湯前町条例第22号)、「水上村文化財保護条例」(昭和 47年水上村条例第5号)、「相良村文化財保護条例」(平成9年相良村条例第13号)、「五木村文化財保護条例」(平成8年五木村条例第9号)、「山江村文化財保護条例」(平成4年山江村条例第8号)、「球磨村文化財保護条例」(昭和48年球磨村条例第2号)又は「あさぎり町文化財保護条例」(平成15年あさぎり町条例第88号)に基づき指定された天然記念物、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)に基づき定められた国内希少野生動植物種、特定第一種国内希少野生動植物種、特定第二種国内希少野生動植物種 及び国際希少野生動植物種、「熊本県野生動植物の多様性の保全に関する条例」(平成16年熊本県条例第19号)に基づき指定された指定希少動植物種、「環境省レッドリスト2020(環境省令和2年)」の掲載種、「レッドデータブックくまもと2019 -熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物- (熊本県 令和元年)」の掲載種、その他専門家により指摘された重要な種